

別記様式（第3条関係）

会 議 録

1 会 議 の 名 称

平成30年度第1回石岡市男女共同参画審議会

2 開 催 日 時

平成30年7月23日（月）午前10時00分から午前11時50分まで

3 開 催 場 所

石岡市役所 本館1階 大会議室

4 出席した者の氏名

清山委員，鈴木委員，古谷野委員，高城委員，田中委員，菊池委員，谷島委員，大谷委員，松本委員，川井委員，大縄委員，貝塚委員（委員12名）

事務局：加藤公室長，長井次長，瀬尾課長，長谷川係長，横瀬主幹

5 議 題

- （1）第2次石岡市男女共同参画基本計画の概要について
- （2）平成29年度実施事業報告及び平成30年度実施予定事業について

6 審 議 の 内 容

議事録のとおり

7 担 当 課 の 名 称

市長公室 政策企画課

1. 開会

2. 挨拶

加藤公室長より挨拶

3. 会長・副会長の選出

事務局より、会長に清山委員を、副会長に高城委員を推薦し承認される。

清山会長挨拶

4. 議事

清山会長により議事の進行

(1) 第2次石岡市男女共同参画基本計画の概要について

事務局：計画書及び概要版に基づき説明

(2) 平成29年度実施事業報告及び平成30年度実施予定事業について

事務局：資料1，資料2，資料3に基づき説明

■女性人材情報の整備・提供（女性人材登録制度）について

委員：「女性人材登録制度」だが、周知が少ないと感じる。現在、どの程度登録者がいるのか。

事務局：現時点では14名の方に登録いただいている。

委員：名簿に登録されている人の中で、実際に市の審議会等への登用に繋がった人は何人いるのか。

事務局：詳細な人数は把握していないため、調査の上回答としたい。また、庁内においては各部局長あてに名簿の積極的な活用を依頼している。周知が少ないとのご指摘だが、今後は市報やホームページの他、市内の様々な団体に対して、個別に登録の依頼をするなどして広く周知したい。

会長：例えば業界の中で、適任者を紹介してもらい、興味がある人をリストアップしてもらい、はかがか。せっかくイクボス企業同盟も立ち上げたのだから、その加盟事業所に推薦してもらい、もいい。

委員：私が所属する事業所は、総務課長が女性であり、男女共同参画も積極的に推進している。そういった方に登録してもらえるといい。イクボス企業同盟にも加盟しているので、そういった点でも協力していきたい。

会長：今後は紹介やリストアップも検討し、名簿を整理してもらい、1年後あたりに報告していただければと思う。

■小・中学校への出前講座の実施について

委員：出前講座は、今年度は小学校2校、中学校1校にて実施することだが、全学校に実施することはできないか。

会長：学校のカリキュラムに男女共同参画に関する授業が入っているのでは。

委員：現在は、小学校の家庭科の授業で、「家庭の家事は分担して協力しましょう」といった趣旨の内容が盛り込まれている。中学校では、人権教育の中に「女性差別をしない」旨の内容が入っている。出前講座は、全学校実施は難しいのではないか。

委員：こういった授業はその場限りでなく、何年ものスパンで継続してやっていくべき。子どもは自分の家庭が基本的な形だと思ってしまう。今、出前講座を受けた児童・生徒が将来家庭を持ち、子どもができたときに、この授業の内容を次の世代にも引き継いでいてもらいたい。

委員：中学校で行った出前講座を見学したことがあるが、日頃接している先生ではなく、外部の人が講師を行うことは生徒にとっていい刺激となる。生徒の真剣さが違うと感じた。

委員：全学校行うことは難しいとは思いますが、実施しない学校に対しても何かフォローができればいい。また、できれば5、6校程度は行うなど、少しでも多くの学校で実施してほしい。

会長：できるだけ多くの児童・生徒が出前講座を聞けるように工夫してほしい。こういった出前授業は、子どもたちが働き手になったときに生きてくる。

■若年層への意識啓発について

委員：「若年層への意識啓発」とあるが、若年層とはどの年齢層を想定しているのか。

事務局：小・中・高校生あたりまでを想定している。

会長：若年層というと15歳から34歳のイメージがある。その年代を対象とするのであれば、カッコ書きで（小中高生）と入れたほうがいい。出前講座と関連してくる事項なので、並行して載せるべき。

事務局：さきほどの出前講座については市内の全小中学校に行くことは難しいため、実施しない学校に対しては「若年層への意識啓発」として、男女共同参画の啓発チラシを作成し配布したい。

委員：それはきちんと年代別、例えば小学生・中学生・高校生向けなど分けて作るのか。

事務局：その予定。

■平成29年度実施セミナーについて

会長：平成29年度さわやかハーモニーセミナーにおいて、サザエさん一家をテーマにして講演会を行ったとのことだが、内容は男女共同参画に関係あったのか。サザエさん一家はどちらかというと、昔ながらの分業制の家庭だと思うが。

また、人権研修やICT研修などは男女共同参画にどう関係してくるのか。事業自体はいいが、男女共同参画との関係性をきちんと明記するべき。言葉の修正が必要な個所が何か所かある。例えばワンフレイズ付け足すだけでも違うので、調整をかけてほしい。

■いしおかイクボス企業同盟について

委員：私の所属している事業所もイクボス企業同盟に加盟しているが、2月に発足式を行った以来、何も音沙汰がなかったのでどうしたかと思っていた。今日この審議会で、今後セミナーなどを予定していると知れたのでよかった。セミナー開催もいいが、せっかく市内の様々な業種が集まっているのだから、横の繋がりを広げる取組みを行ってほしい。各自の取組事例発表やグループワークなどの情報共有を行う場を、

年に1回くらいは開催してほしい。

会 長：トップボスセミナーなどかどうか。また、トップはトップ同士，中間管理職は中間管理職同士，同程度の役職同士が意見交換できる場があるといい。

事務局：セミナーだけでなく，委員からご提案いただいた意見交換の場というものを設定したく，今後検討していきたい。

■目標値について

委 員：第1次基本計画において，例えば市の審議会等の女性登用率は目標に達することができなかったとのことだが，第2次基本計画においては，1年ごとの目標値を定めることはできないか。1年ごとに決めていけば，5年後の中間目標達成に繋がっていくのではないか。

事務局：1年ごとの目標設定は難しいが，おっしゃるとおり少しでも達成に近づくよう努力していく。市の審議会等の女性登用については，さきほど出た女性人材登録制度の活用のほか，イクボス企業同盟にも呼びかけていきたい。

■周知・広報の仕方について

委 員：石岡市のホームページは見にくい。もっと検索しやすく，見たい情報がすぐ見られるようにしてほしい。今回初めて審議会に出席したが，市がこのような事業を行っていることを，この場で初めて知った。市民への周知の仕方をもっと考えてほしい。

委 員：市民に周知する方法はどうしても市報やホームページ中心になってしまうことは承知しているが，今の若い人は市報を見ない。そもそも市報などは自分から見ないと情報が取れないため，もっと簡単に知れる方法があるといい。

委 員：情報発信に関しては，市の情報を青年会議所のフェイスブックやツイッターで拡散したりなどして協力している。今の若い人はほとんどネットが中心で，紙を見ないと感じる。そういう方向けにラインの公式アカウントを作成するのはどうか。

委 員：子育てを行っている身としては，子育て支援情報を知りたい。また，情報を得るのは紙ではなくネット検索になるため，市のSNSを充実させるなど方法を考えてほしい。

■石岡市ワーク・ライフ・バランス補助金について

委 員：平成30年度より新設したとのことなので，今後，イクボス企業同盟対象のセミナー等でどんどん周知をしてほしい。

委 員：弊社が所属する柏原工業団地にも対象となる企業が何社かあるため，周知に協力していきたい。

■市男性職員の育児・介護に関する休暇及び休業の取得促進について

委 員：現在，市男性職員の育休等の状況は。

事務局：平成29年度においては対象者25人のうち1人が取得しており，割合は4パーセント。過去6年間においては，対象者117人に対し取得者は2人で，割合は1.7パーセントとなっている。それに対し，配

偶者出産休暇は117人のうち98人が取得しており、割合は83.8パーセント。育児参加休暇は、平成29年度は対象者25人のうち5人が取得しており、割合は20パーセント。

会 長：育児参加休暇は第2次基本計画において「完全取得」という形で目標設定している。少し工夫を行い積極的な取得を促すことで、目標達成に努めていただきたい。

■子育てポータルサイト「てとて」について

委 員：昨年度より「てとて」のサイトが運用開始されたとのことだが、その効果はどういったものがあるのか。

事務局：アクセス数を調査の上回答としたい。

委 員：冊子版の「てとて」には、出産前から出産後まで色々な情報が載っている。配布場所などを考えて、色々な人に周知できるようにしてほしい。

■女性の視点を取り入れた避難所運営について

委 員：現在、避難所は何か所設定されているのか。

事務局：39か所である。

委 員：間仕切りがある避難所は設置予定を含め13か所とのことだが、災害はいつ起こるか分からないため、未設置の避難所については早急な対応をお願いしたい。

■消防団活動への女性の参画促進について

委 員：女性消防団員の入団促進PRを行ったとのことだが、具体的に何を行ったのか。また、それによりどの程度入団したのか。

事務局：案内のチラシを配布した。また、効果については配布したばかりのため、現在は不明確。今後判明してくると思われる。

5. その他

事務局：第2回男女共同参画審議会は、来年1月から2月頃を予定している。

6. 閉会